

令和4年度 市政アンケート調査 第2回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民682人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和4年4月7日から令和5年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内:郵送・メール、回答:郵送・WEB】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第2回調査の概要

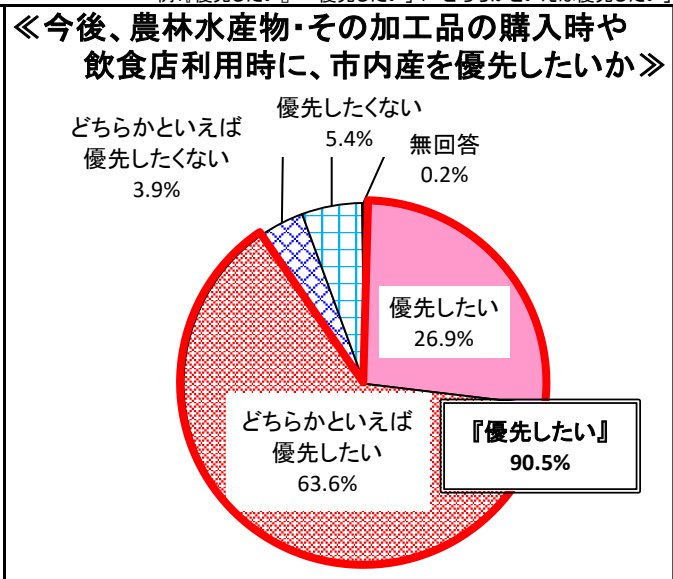
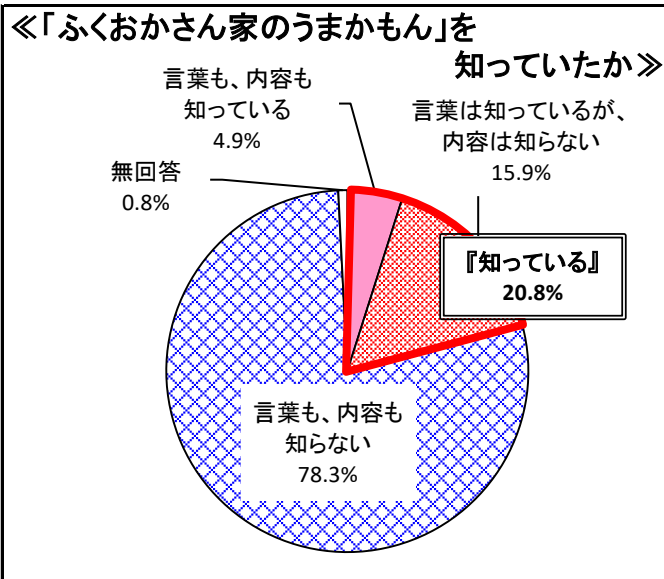
- (1) 調査時期
- 令和4年6月24日から7月8日まで
- (2) 調査対象者数
- 680人
- (3) 回答者数
- 591人
- (4) 有効回答率
- 86.9%
- (5) 調査テーマ
- ①「ふくおかさん家のうまかもん」について
 - ②「消費生活」について
 - ③「省エネルギーと再生可能エネルギー」について
 - ④「福岡スマートシェアサイクル事業」について
 - ⑤「ユマニチュード®」について

3. 注意点

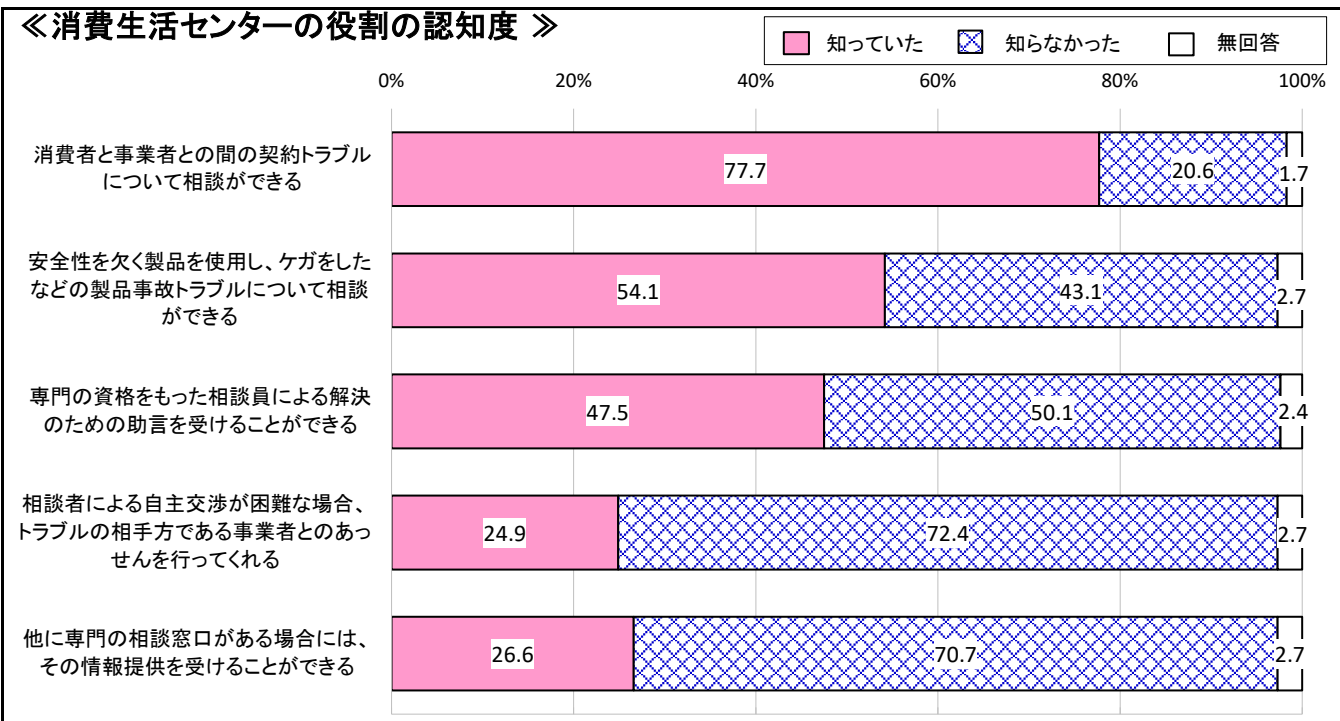
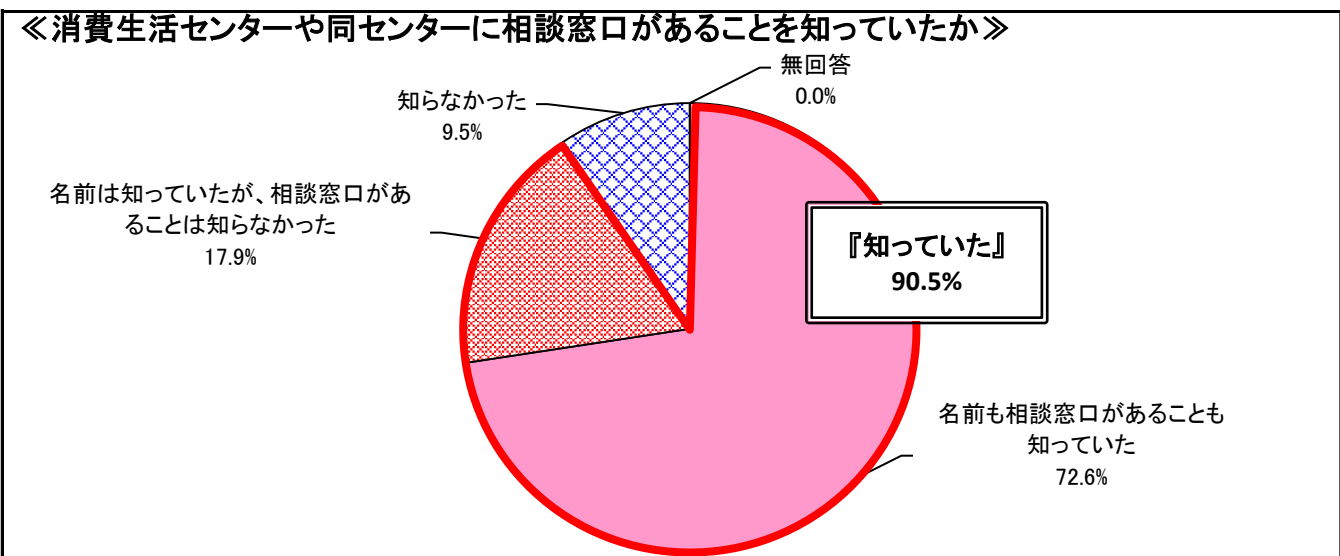
- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「ふくおかさん家のうまかもん」について(N=591)

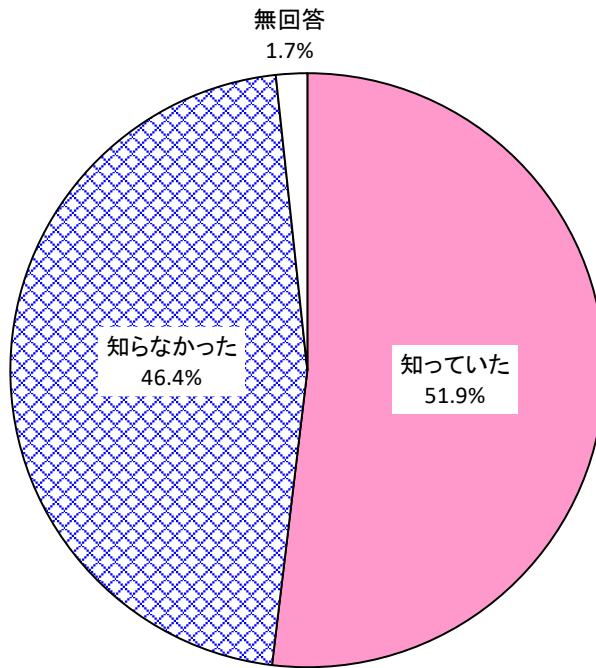
※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの
 例:『優先したい』=「優先したい」+「どちらかといえば優先したい」



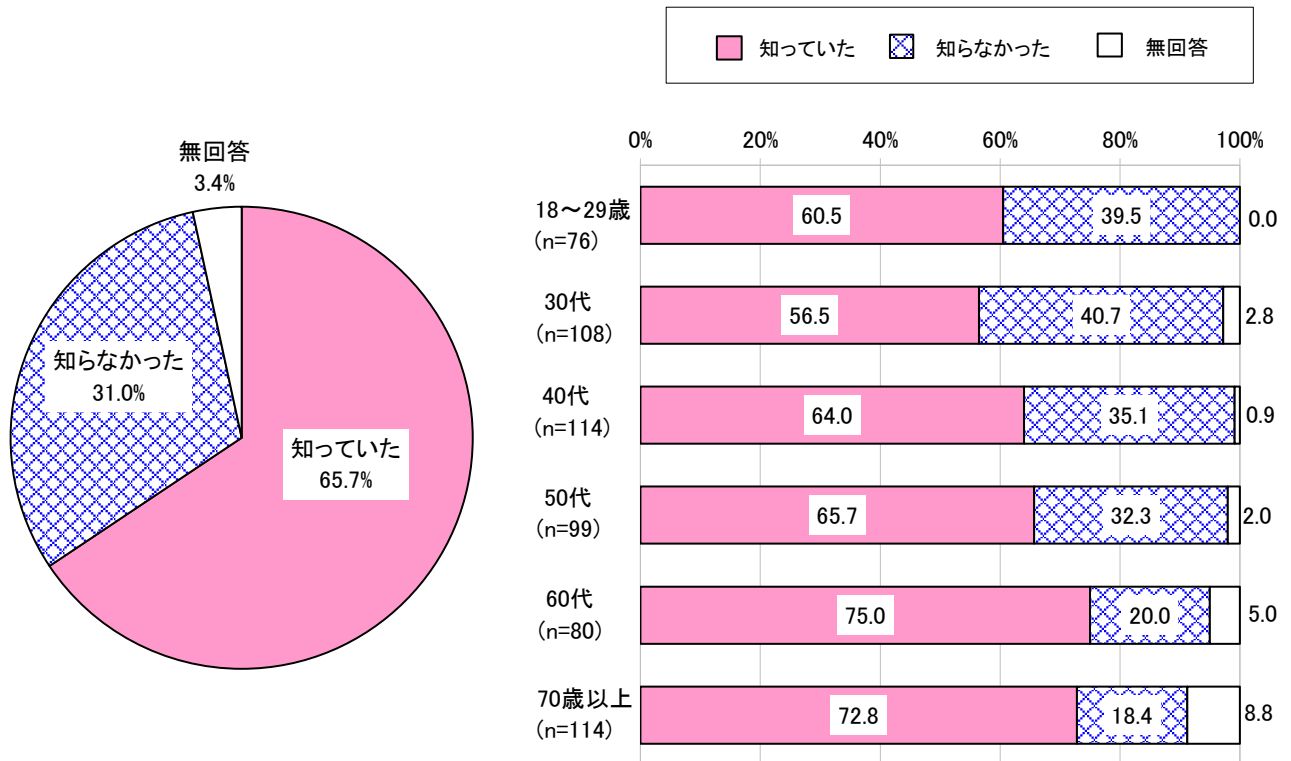
②「消費生活」について(N=591)



《店舗や通信販売で購入・利用契約をした場合、
クーリング・オフができないことを知っていたか》



《令和4年4月から「未成年者取消権」が18歳、19歳に適用されなくなったことを知っていたか》

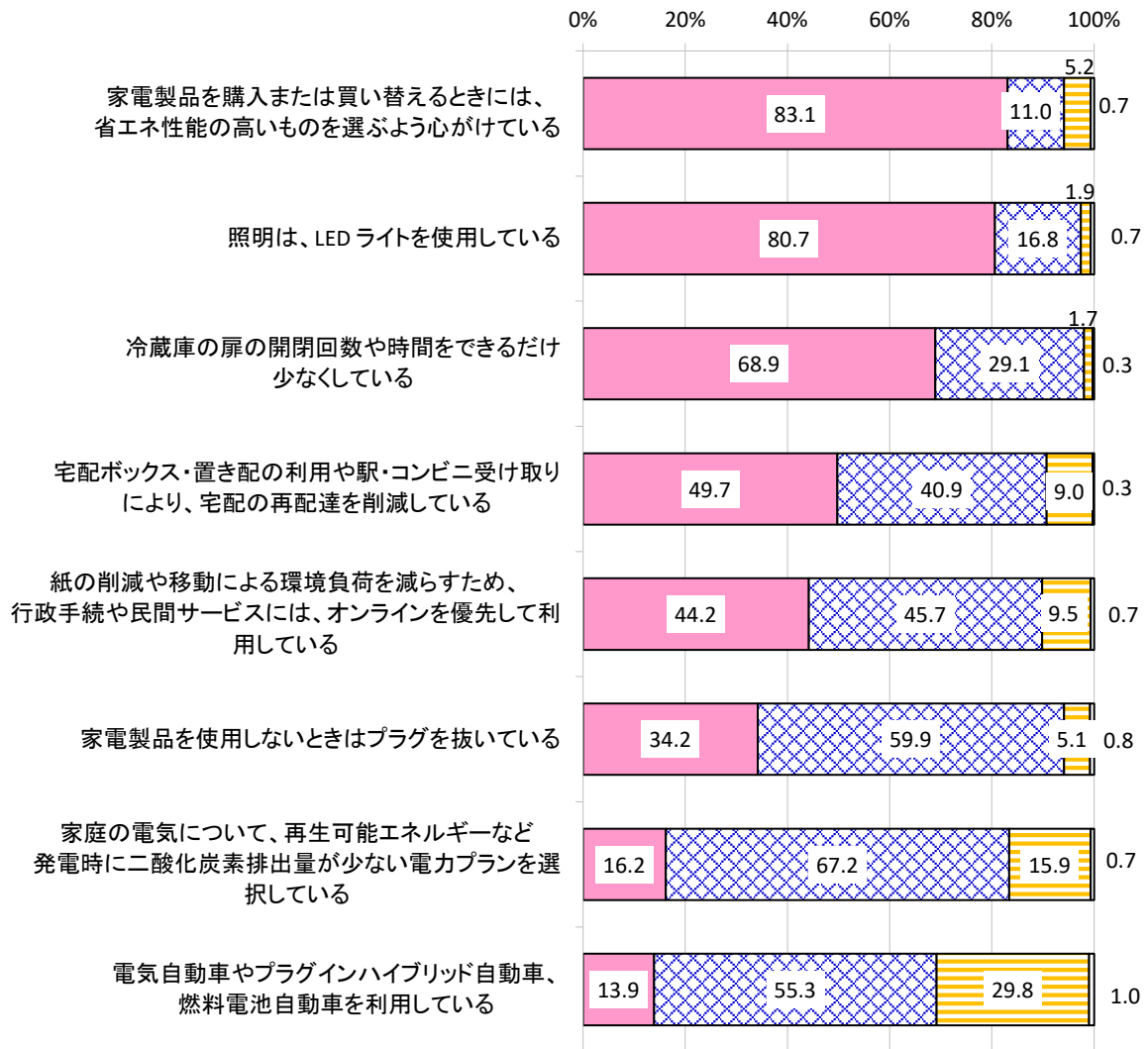


「知っていた」と回答した方は全体の65.7%となりました。年代別にみると、60代で「知っていた」の割合が最も高く75.0%となりました。

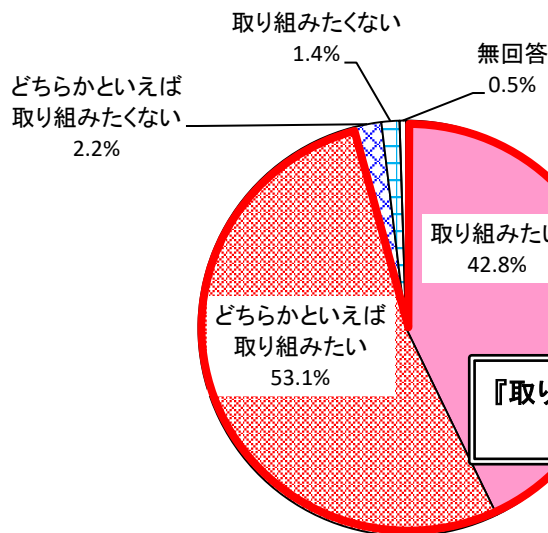
③「省エネルギーと再生可能エネルギー」について(N=591)

《省エネ・再エネ行動の実施状況》

■ 実施している
 ■ 実施していない
 ■ 該当しない
 ■ 無回答



《省エネ・再エネ行動に取り組みたいと思うか》

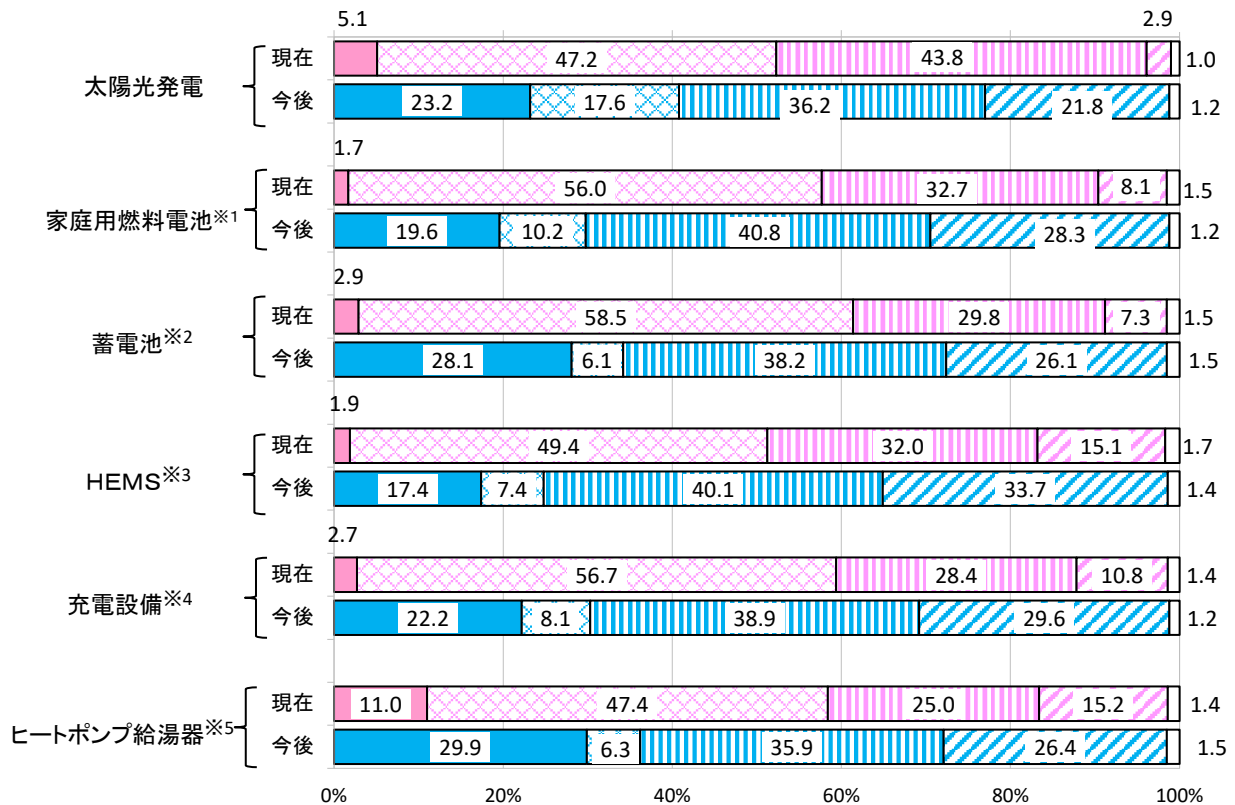


『取り組みたい』と回答した方は95.9%となりました。

『取り組みたい』
95.9%

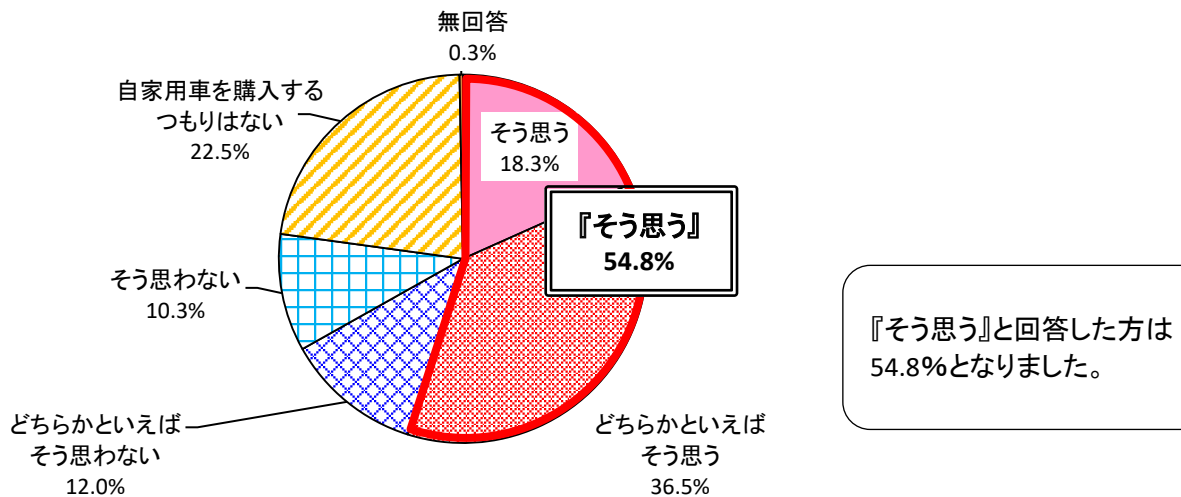
《省エネ・再エネ機器の設置状況と今後の設置意向》

【現在】 ■ 設置している ■ 設置していない ■ 設置できない ■ わからない □ 無回答
 【今後】 ■ 設置したい ■ 設置したくない ■ 決めていない ■ わからない □ 無回答

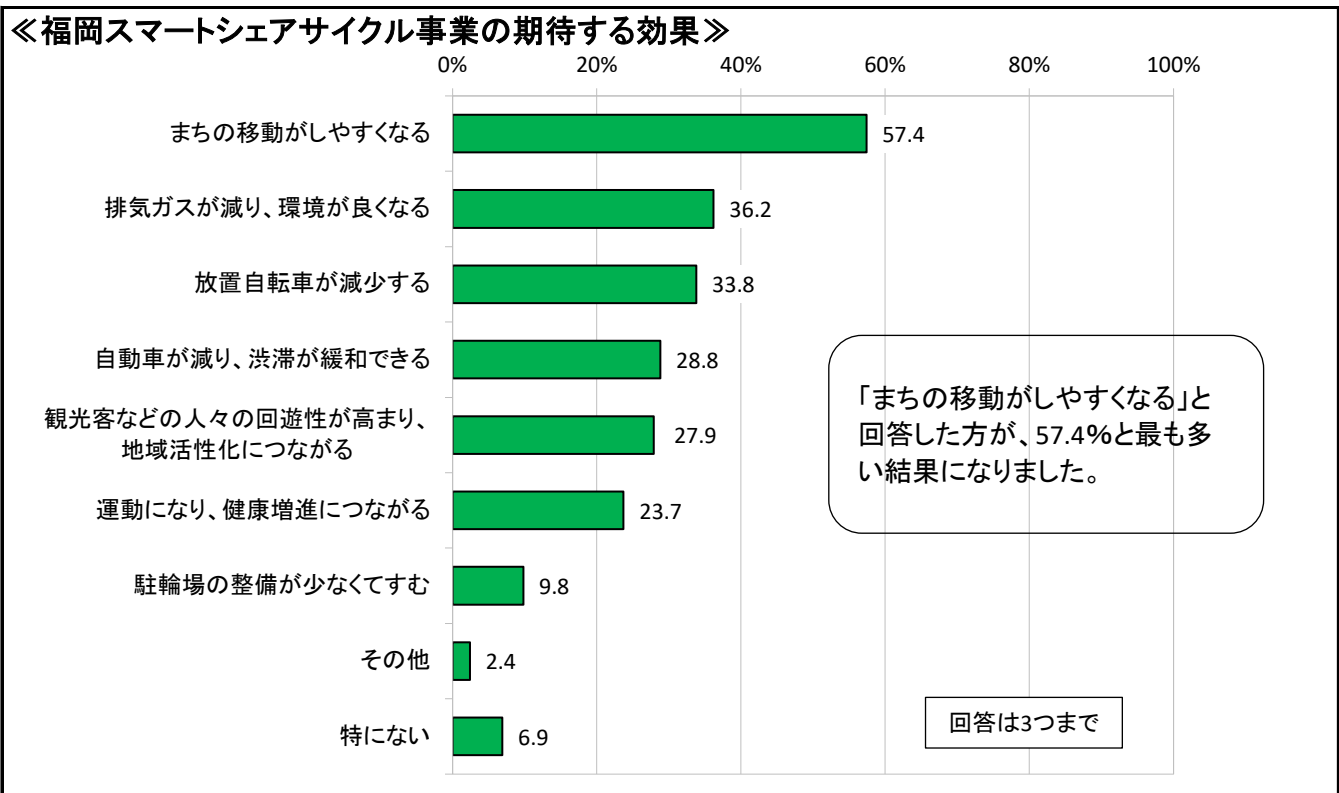
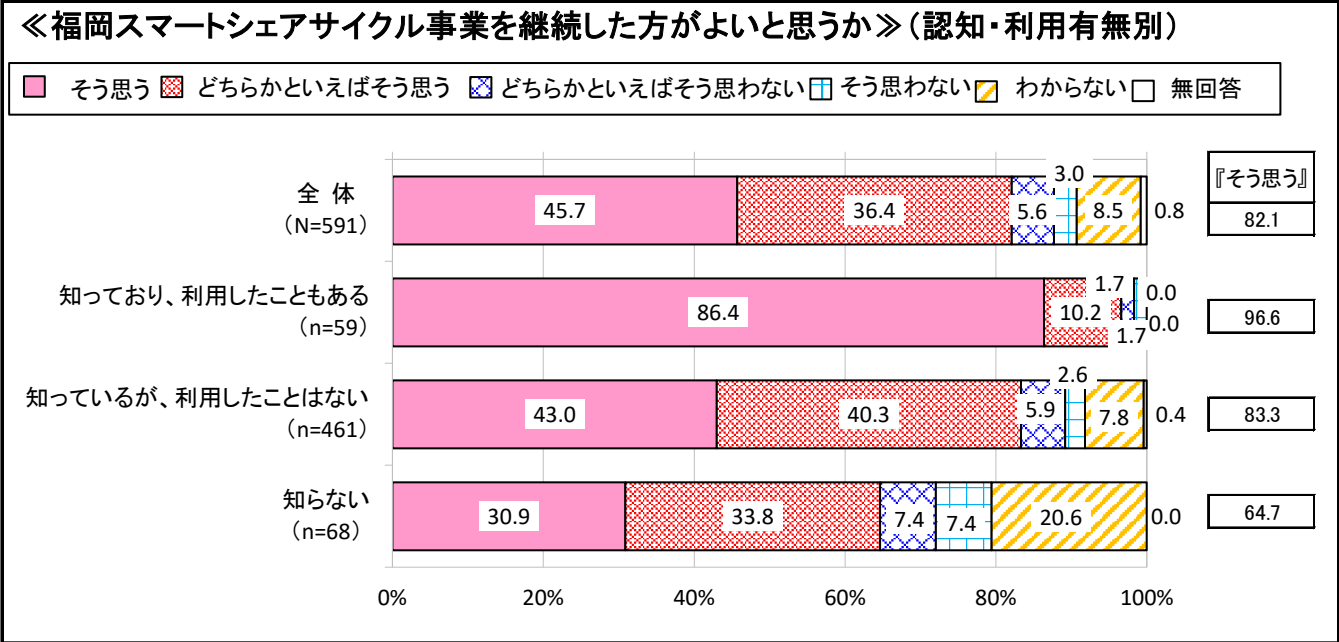
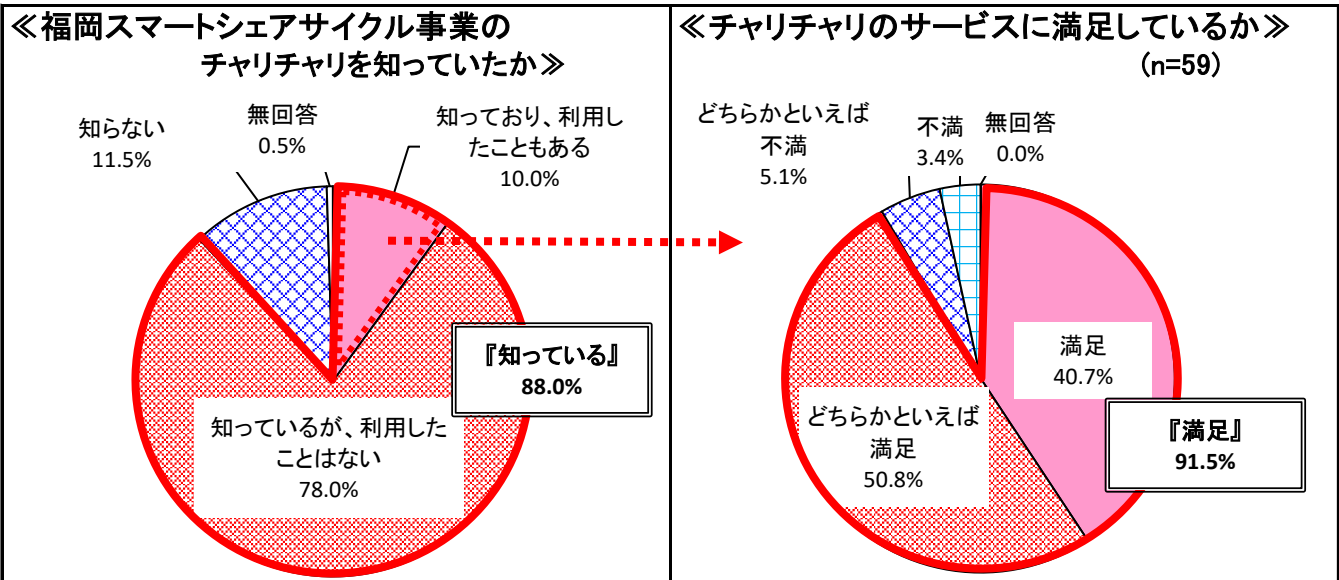


- ※1 家庭用燃料電池（エネファーム）
：ガスから水素を取り出して発電と給湯に利用する機器
- ※2 蓄電池
：電気を蓄えておき、必要なときに電気を使うことができる機器
- ※3 HEMS（ホームエネルギー・マネジメントシステム）
：電気の使用状況の確認や、照明や空調などの電気機器の制御をする戸建用システム
- ※4 充電設備
：電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に充電するための設備
- ※5 ヒートポンプ給湯器（エコキュート）
：空気の熱を利用し、わずかな電気を使い効率的にお湯を沸かす機器

《自家用車の購入・買い替え時に、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しようと思うか》

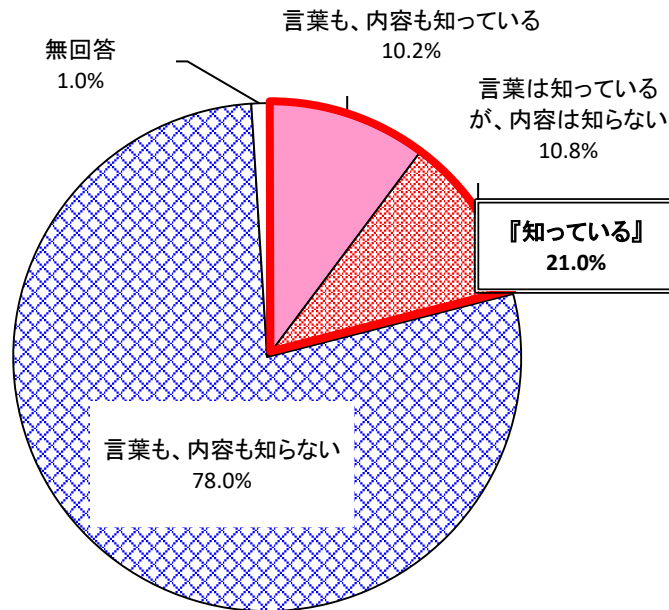


④「福岡スマートシェアサイクル事業」について(N=591)



⑤「ユマニチュード®」について(N=591)

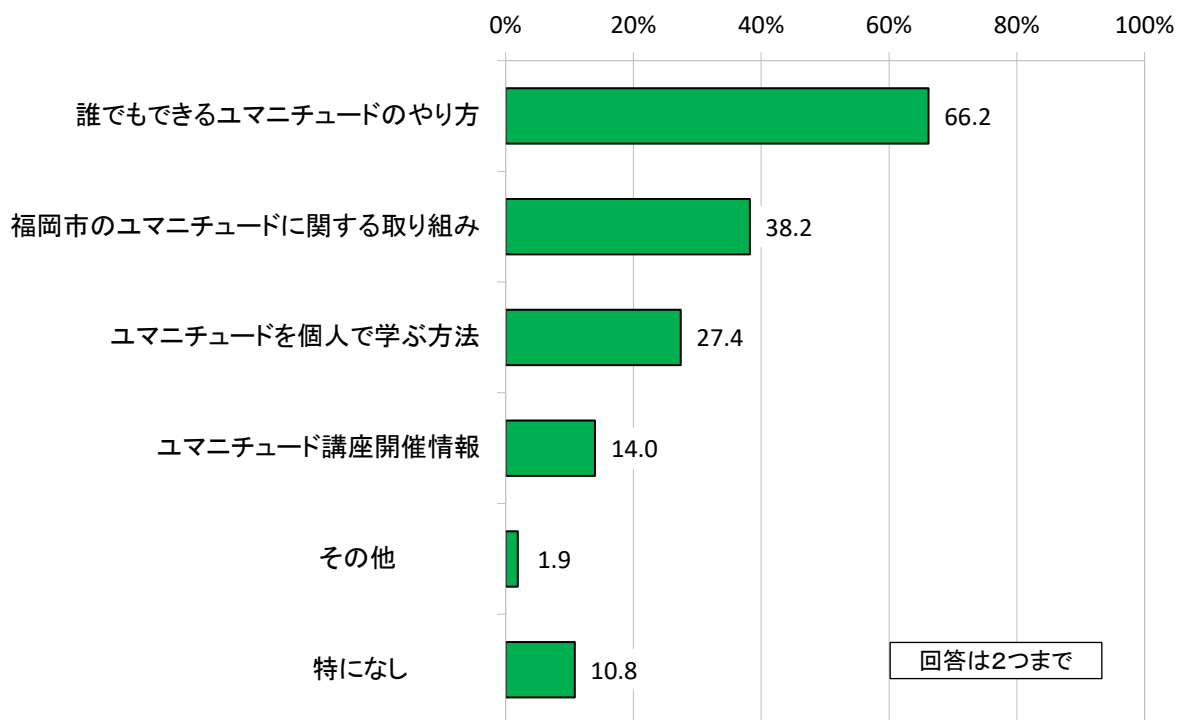
《「ユマニチュード」を知っているか》



※ユマニチュードについて

ユマニチュードは、認知症の方に届けたいサポートをうまく受け取ってもらうための具体的な技術と、「なぜそれを行うのか」という考え方(哲学)からできています。
 ユマニチュードでは、「あなたのことを大切に思っています」ということを相手が理解できる形で伝えるため、「見る」「話す」「触れる」「立つ」という4つの基本の柱を定めています。

《ユマニチュードについてどのような情報がほしいか》



「誰でもできるユマニチュードのやり方」と回答した方が66.2%と最も多く、次いで「福岡市のユマニチュードに関する取り組み」が38.2%という結果になりました。